

## 地域まちづくり協議会の区域設定を考える参考資料

項目	小学校区単位 (2)		旧村単位 (5)		消防部単位 (12)	
	メリット	デメリット	メリット	デメリット	メリット	デメリット
区域に対する意識 (馴染み)	現在の小学校 (旧中学校)、保育園の単位であり、若い世代には馴染みがある	中高年者には馴染みがない	旧村単位であり、中高年者には馴染みがある	若い世代にはあまり馴染みがない	現役消防関係者には馴染みがある	新しい消防組織の単位であり、一般的には馴染みがない
活動の拠点	公共施設又は現在の小学校を活動の拠点とすることができる	気軽に集まり活動するには不便である	旧小学校又は中心となる集落集会施設を活動の拠点とすることができる	気軽に集まり活動するには多少不便である	中心となる集落集会施設を活動の拠点とすることができる	徒歩で参加して活動することはできない
地域課題等に対する一体感		範囲が広く、環境なども異なることから一体感の醸成が(難しい)課題となる		集落数や範囲が地区ごとに異なり、一体感の醸成が(難しい)課題となる地区もある	環境などが類似しており、ある程度一体感を持つことが可能	
現在の集落活動等への影響	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし
運営組織等の体制	ある程度の人口があり人材確保・組織運営が比較的行いやすい	構成規模が大きく、協議会としての活動はしにくい	現在の組織規模としては適当である	将来的に人材の確保・組織の運営が課題となることが懸念される	小規模な組織であり、活動そのものがしやすい	人口にバラつきがあり、人材の確保が難しい(個人の負担が大きくなる)
将来的な見通し	将来にわたって柔軟な対応と安定した活動が期待できる 全体的な事業への取り組みが可能である		人材の確保、協議会の運営等について、将来的に不安が残る		組織としての活動・発展に限りがある	